



所在地：薩摩川内市平佐一丁目18番地
 総事業費：約73億円
 ・うち施設整備費：約47億円

施設概要

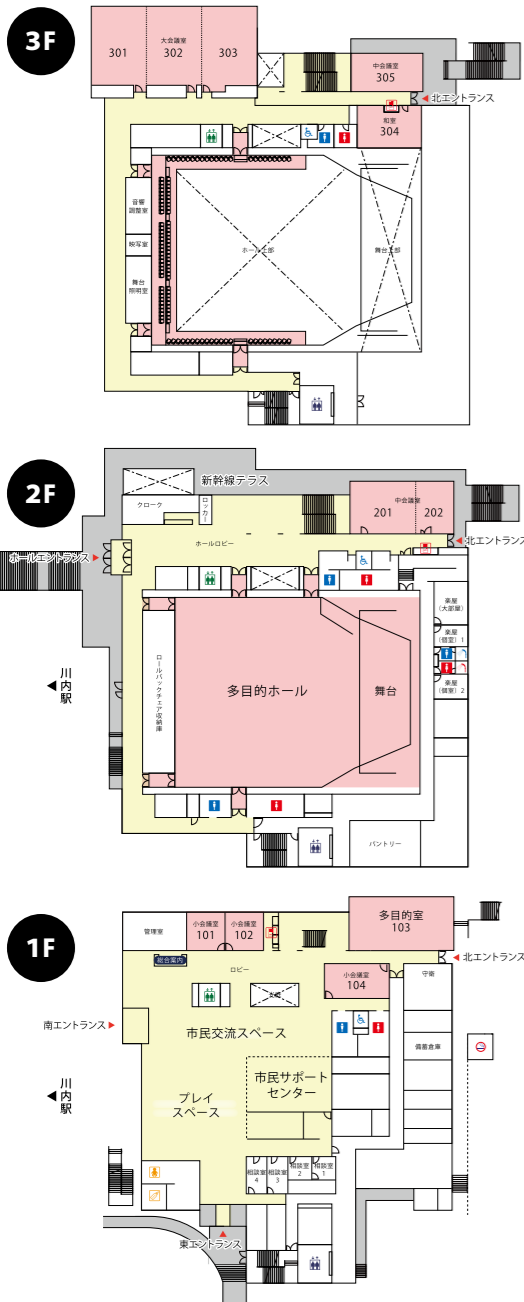
- 多目的ホール
 - ・平土間形式 スクール形式：約500人
円卓形式：約400人
立食形式：約600人
 - ・シアター形式 移動観覧席18段展開：約1,000人
移動観覧席11段展開：約 480人
移動観覧席 7段展開：約 340人
- 会議室
 - ・室数：11室 最大利用者約460人
(最大約200人収容 / 大会議室)
 - ・キッチン、リハーサル室などの機能を付加
- 市民サポートセンター
- 次世代エネルギー施設
 - ・太陽光発電施設 ・蓄電池設備
 - ・地中熱利用設備 ・水熱源空調設備
 - ・EMS ・デジタルサイネージシステムを導入
- 北側駐車場

事業者(特別目的会社)：株式会社薩摩川内 MICE



1月8日(金) 「SSプラザせんだい」オープン! 川内駅コンベンションセンター

歴史と文化を継承し、
 新たな景観を生み出す
 地域交流拠点



▶映画館のように洗練されたデザインが美しい空間を演出します。

▶1階から3階にある11の会議室には、キッチンや和室も備えます。

▶プレイスペースは、子どもたちが自由に遊べる空間です。

▶総合案内には、最新のデジタルサイネージシステム「電子看板」を準備。

波及する：地域をリードするランドマーク

現在建設中の隣接する商業施設などや地域の観光施設・飲食施設・宿泊施設と協力・連携し、薩摩川内市の魅力を引き立てます。

行き交う…にぎわいの相乗効果をもたらす交流空間・多様な居場所

九州新幹線、鹿児島本線および肥薩おれんじ鉄道の停車駅である川内駅に隣接し、好アクセスな立地でさまざまな人の流れを生み出します。

託されたのは未来

1月8日(金)、川内駅平佐口(東口)に、SSプラザせんだい(川内駅コンベンションセンター)がオープンしました。

人々の暮らしに多くの恵みをもたらした川内川のように新たな人の流れを作り出し、さまざまな交流と活動を生み出す交流拠点として地域をリードしていきます。

キーワードは「集う」「行き交う」「波及する」

集う……市民活動を育む拠点

市民の新しい活動拠点として、多目的ホールや最大11室の会議室を備え、さまざまなニーズに対応、多くの市民活動の場を提供します。

行き交う…にぎわいの相乗効果をもたらす交流空間・多様な居場所

九州新幹線、鹿児島本線および肥薩おれんじ鉄道の停車駅である川内駅に隣接し、好アクセスな立地でさまざまな人の流れを生み出します。

社薩摩川内MICEや地元商店街、企業・各種団体の皆さまと連携・協力しながら、川内駅コンベンションパークが交流人口の拡大、文化振興ならびに経済振興の拠点として市民の皆さまに未永く愛される施設となりますよう努力してまいります。

ぜひ多くの皆さまにご活用いただけますと幸いです。

さらに、本年8月にはホテルやレストラン、商業施設などが開業し、SSプラザせんだいと一体となった川内駅コンベンションパークとしてグランドオープンする予定となっています。

市では、施設の指定管理者「株式会社

SSプラザせんだいをぜひご利用ください。

2018年12月に着工し、本体工事を終えたSSプラザせんだいは、本年1月8日に待望の開所を迎えました。

「歴史と文化を継承し、新たな景観を生み出す地域交流拠点をコンセプトに建設された当施設の最大のセールスポイントは、最大1000人を収容可能な移動観覧席とパントリイ(配膳室)を備えた多目的ホールであり、学会や各種大会、コンサート、レセプションなどさまざまな利用が可能です。

また、最大11室が使用可能な会議室の他、1階フロアには子育てやさまざまな市民活動を支援する市民サポートセンターを設置し、スタッフが常駐しています。

薩摩川内市長 田中良二

